

## 盛地申「駅の体制見直し」に関する申し入れ交渉 第10号

その1

### 第1項 北上駅びゅうプラザ店舗の廃止に至った根拠を明らかにすること。

**回答** 旅行業を取り巻く環境の変化に対応するため、体制の見直しを行うものである。

(組合) 旅行業を取り巻く環境の変化とは何か？

【会社】 インターネットを介した個人型旅行が主流になってきている。当社においてはダイナミックレールパックなど非来店型の環境を整えてきている。お客さまのニーズを踏まえ店舗販売を取り止める。

(組合) 少子高齢化を迎える中で、オンラインに対応出来ない方をどのように補っていくのか。

【会社】 オンライン環境を整えている一方で、びゅう予約センターにて電話による旅行商品の購入や相談を承る窓口を開設している。どうしても対面で相談や購入したいという方には、積極的に宣伝するものではないが、旅行代理店を紹介するというツールもある。

(組合) びゅうプラザ北上が無くなる中で北上地区の旅行業の維持向上は出来ると考えているのか。

【会社】 100%取りこぼしが無いかは未知数だが、購入できる環境は整えてきている。引く続き旅行商品を買いたい求めいただけるような工夫をしていく。

低下させないようにしていく旨を確認!

### 第2項 廃止に伴って社員説明を行い、異動に関しては最大限本人希望を考慮すること。

**回答** 社員の異動については、任用の基準に則り取り扱うこととなる。

(組合) 任用の基準というのはさまざまな施策でも議論してきたが、職場が無くなるということで本人希望を尊重していただきたいというのが組合の主張である。

【会社】 今施策に伴って特別な考えがあるものではない。面談を実施し、丁寧に本人の状況、家庭状況や適正、将来やりたい仕事など総合的に勘案して決定していきたい。希望どおりかは別としても本人の希望はしっかり会社として聞いていく。

(組合) 面談の時期を具体的に教えていただきたい。現時点で面談されていないことから現場は不安である。

【会社】 今明確な実施時期については検討中である。不安や疑問の解消に努めていく。準備が出来ればすぐにでもやっていく考えであるという事である。

つづく